



生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 日本看護協会

2020年度 特定行為研修シンポジウム

1月22日(金) WEB開催

—患者・利用者のニーズに沿った修了者の活動と支援方策—

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員76万人）は、2020年度特定行為研修シンポジウムを、1月22日（金）にWEB開催します。

特定行為に係る研修制度開始から5年を経て、指定研修機関は222（令和2年8月現在）、修了者は2887名（令和2年10月現在）です。しかし、まだまだ臨床現場や地域の中での活動が定着しているとは言えない状況です。今後のますますの制度活用推進に向け、「患者・利用者のニーズに沿った特定行為研修修了者の活動と活動支援の方策」をテーマとしたシンポジウムを実施します。病院内で修了者を育成・支援する看護管理者の立場から、また、在宅領域での実践者からの活動をご紹介します。患者・利用者のニーズに応える活動や管理者の役割について議論していきます。

つきましては、ぜひご取材いただけますよう、別紙の申込用紙のFAX、またはEメールでお申し込みください。

◆開催概要◆

【日時】2021年1月22日（金）14:30～16:30

【開催形式】Web開催 *後日URLをメールにてご案内いたします。

【テーマ】患者・利用者のニーズに沿った特定行為研修修了者の活動と活動支援の方策

【主なプログラム】

【開会挨拶】永井 良三（看護師の特定行為に係る指定研修機関連絡会会長）

福井 トシ子（公益社団法人日本看護協会会長）

【情報提供】特定行為研修制度に関する新しいトピックス（仮）

≪情報提供者≫ 厚生労働省医政局 看護課 看護サービス推進室

【シンポジウム】

≪座長≫ 神野 正博（全日病副会長・社会医療法人財団董仙会理事長）

荒木 暁子（公益社団法人日本看護協会 常任理事）

- ◆「急性期病院の管理者の立場から」吉田 和寛（滋賀医科大学医学部附属病院看護師長）
- ◆「慢性期病院の管理者の立場から」小澤 美紀（医療法人社団三喜会鶴巻温泉病院看護部長）
- ◆「在宅領域の実践者の立場から」瀧澤 晴海（KA訪問看護ステーション）

【意見交換】

News Release 取材のお願い

報道関係者各位

公益社団法人 日本看護協会 広報部

2021年1月14日

日本看護協会 広報部 宛

(FAX:03-5778-8478/Eメール:koho@nurse.or.jp)

☆1月20日(水)12:00までにご連絡をお願いします。

2020年度 特定行為研修シンポジウム

取材申込書

【開催日】1月22日(金) 14:30~16:30

【開催方法】WEB開催

会社名	
部署名	
媒体名	
お名前	
TEL	
Eメール※	

※WEB開催のため、必ずEメールアドレスをご記入ください。

※後日、URLをEメールにてご案内させていただきます。